

4 努力目標及び具体策

(1) 各部

《教務部》

努力目標（評価の観点）	具体策
教育課程の充実に向けて、教育課程の改善と適切な科目選択指導を推進する。	新教育課程実施に向けて、生徒の適性、進路の希望実現に適した教育課程・選択科目群の作成を目指し、さらなる協議と検討を加える。
	総合学科の特質を失うことなく、生徒の実態に応じた科目選択指導を検討・実践する。

《総合学科推進部》

努力目標（評価の観点）	具体策
総合学科高校としての魅力ある特色づくりを推進する。	総合学科課題検討委員会と連携し、垂直的・水平的調整機能の強化を図る。
	本校の抱える課題の検討及び調整に取り組む。
産業社会と人間、総合的な探究の時間を統括する。	1年次「産業社会と人間」と2年次「総合的な探究の時間」のカリキュラムマネジメントを進め、生徒の自己実現を図る。
様々な機会を通して、保護者・中学生・地域住民等の本校に対する理解を深める。	一日体験学習や各種進学説明会等において、中学生・保護者にとって分かりやすい説明や紹介資料の工夫・改善に取り組む。

《学習指導部》

努力目標（評価の観点）	具体策
3観点を意識し「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進する。	3観点を意識し、教科内で十分共通理解を図った上での「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った改善策・改善例をまとめる。
生徒の学習状況の改善と基礎学力の定着に力を入れる。	家庭学習時間調査等を通し、予習－授業－復習の習慣づけや家庭学習の充実に向けた取り組みをおこなう。
生徒が自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。	進路指導部や年次との連携を図り、総合的な探究についての計画・立案・改善を進める。

《生徒指導部》

努力目標（評価の観点）	具体策
全職員の共通理解のもとに、基本的生活習慣を確立させる。	授業の開始時には号令係を活用し、全職員が身だしなみ指導を徹底する。
	全職員が積極的に声かけをすることで挨拶・会釈を励行させる。
異なる見方や考え方を尊重できる好ましい人間関係を構築し、健全な学校生活が送れるように、指導・支援を充実させる。	面談、アンケートや巡回などで情報を収集し、いじめ・嫌がらせをはじめとする問題行動や、不登校などの未然防止・早期発見に努める。
交通安全に対する意識を高揚させ、事故・違反の防止に努める。	交通委員会を活用し、登下校時の交通安全・マナー向上のための指導を行う。

《進路指導部》

努力目標（評価の観点）	具体策
総合学科の特色を生かし、将来を見据えた一人一人の進路目標を明確にし、進路実現にあたる。	総合学科推進部との連携を密にし、産業社会と人間の時間、総合的な探究の時間を連動させ、探究活動を通してキャリア教育の充実を図り将来の自己実現を果たす基礎を築く。
	各年次と連携し、実施可能な体験学習や進路ガイダンス、オープンキャンパスへの参加を通し、自分を見つめ将来を見据えた目標設定ができるよう指導する。
進路実現に向けた環境を整備し、個々の能力を伸ばし、継続的に努力する姿勢を養う。	校外模試等を積極的に活用するとともに、受験対策学習会への参加を奨励したり、スタディサブリを活用したりすることで、進路実現のための学力向上に努める。
	就職実現のために職安と連携協力し、進路相談や就職・公務員対策講座、面接指導等を充実し、進路実現にあたる。
	新受験形式に対応した面接指導や小論文指導の体制を作り、保護者との連携を強化し、継続的に努力する姿勢を身につけさせる。

《健康指導部》

努力目標（評価の観点）	具体策
心身共に健康で安全な生活を実践する能力や態度を養う。	健康診断の重要性を認識させ、自己管理能力の向上が図れるよう指導を徹底する。
	学校生活全般を通して保健指導を行い、健康の保持増進を図り生命と安全の確保を第一に考え行動できる能力を育成する。
	各種体育行事に積極的に参加させ、体力の向上と協調性・協力性を育成する。
校舎内外の環境の整備と美化に努める。	校舎内外の清掃美化に努め、学習環境を整える。
	施設設備や用具等の安全管理を徹底する。

《特別活動部》

努力目標（評価の観点）	具体策
生徒の主体的な活動を促し、豊かな人間性を育成する。	生徒が各学校行事に自主的に参加できるように計画、実施する。
	生徒会のより積極的に自主的な活動を援助し、協力して諸問題を解決しようとする態度を育てる。
社会貢献の機会を提供し、地域に根ざした活動を推進する。	学年や部顧問と連携して、部活動の活性化を図る。
	福祉諸活動への取り組みを促し、社会に貢献できる能力を育てる。

《渉外部》

努力目標（評価の観点）	具体策
PTA活動を活発にし、会員相互の親睦を深めるとともに、本校に関する情報を広く提供する	会員多数の参加が得られる支部活動及び研修を提供する
	広報誌及びホームページの充実につとめる
同窓会のスムーズな運営を図る 若い世代の積極的な参加を図る	同窓会費の活用範囲について再検討し、学校行事のさらなる活性化につなげる
	4期生、5期生の「十年会」の準備を推進し開催する

《情報管理部》

努力目標（評価の観点）	具体策
教務支援システムを活用し校務処理の効率化を図る。	・各部、学年と連携し運用しやすいシステムの整備を行う。 ・校務の効率化を図るため、校内研修等を行いソフトの活用を促す。 ・タブレットの積極的な活用を図るため、活用方法を共有する。
学校HPの充実を図り、地域や家庭への情報発信を積極的に行う。	・HPを更新しやすい環境の整備をする。 ・各行事の担当者と連携し更新のサポートを行う。
視聴覚機器の適切な管理を行う。	・校務PCやタブレットの台帳管理を適切に行う。 ・消耗品や備品の状態を管理し、更新や修繕を適宜行う。

《図書館部》

努力目標（評価の観点）	具体策
学力の向上と豊かな人間性の育成をめざして、読書習慣の定着をはかる。	「朝の読書」活動の効果的運用のために図書を整備する。
	教科指導の支援・発展のために「調べ学習」の場を提供するとともに利用の促進をはかる。
委員会活動の積極的な運営を促し、図書館教育活動全般の充実をはかる。	読書への関心・意欲を高めるために幅広く情報を提供するとともに、状況に応じて業務を適切に行う。
	委員が自ら進んで調査・取材する姿勢を育て、「いずみ」の紙面充実をはかる。
沿革資料の保存、利用、活用に努める。	映像記録を含む校史資料を遺漏なく収集・保管するとともに、保管のあり方を工夫・検討する。